期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,413,305,595	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：2,413,305,595円 イ）資産購入の額：94,301,862円（うち固定資産93,217,327円、特許権1,084,535円） ウ）特許出願に係る弁理士費用：2,418,119円
	資産見返運営費交付金	94,301,862	
	建設仮勘定見返運営費交付金	0	
	工業所有権仮勘定見返運営費交付金	2,418,119	
	資本剰余金	0	
	計	2,510,025,576	
会計基準第81第３項による振替額		0	
合　　計		2,510,025,576	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	0	平成24年度において全額収益化
	計	0	
平成24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	194,654,424	運営費交付金債務残高は以下の理由により、運営費交付金の収益化額が計画を下回り、翌年度に繰り越したものであります。 ①平成25年度で実行予定の施設維持等の経費に充当するため 事業費　108,268,890円 ②平成24年度において、給与の減額改定があったため 人件費　86,385,534円 なお、その他中期計画で予定した当年度に実施すべき業務については、計画どおりに実施済みであり、業務未達成による運営費交付金債務の繰越額はありません。当期債務残高につきましては、翌事業年度において該当項目支出時に収益化する予定であります。
	計	194,654,424	